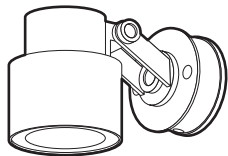


取扱説明書

住宅用照明器具 (LEDスポットライト)

保管用

施工説明付き



品番 **LGW46131B** **LGW46131S**
(オフブラック) (シルバーグレーメタリック)

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1ページ)を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



必ず守る

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、
販売店または別紙お客様ご相談窓口
にご相談ください。



分解禁止

- 器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれ
があります。



注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常が
なくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに
火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき
自主点検してください。
- お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となる
ことがあります。
- 本体の取り外しは販売店、工事店に
依頼する
本体の取り外しには資格が必要です。



禁止

- LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
- ネジを締め付けた状態で照射部を
垂直方向に無理に動かさない
器具破損の原因となることがあります。
- 可動範囲を越えて照射部を無理に
動かさない
器具破損の原因となることがあります。
- 可動部の隙間に指を入れない
けがの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は交換できません。

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止

- ・取付面がパッキンより小さい場所
- ・補強のない場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど)
- ・浴室などの湿気の多い場所

◎この器具は壁面(上・下向き取付)・天井面取付兼用防雨型です。(防湿型ではありません。)



必ず守る

●取付面とパッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る

パッキンと取付面とのスキマを防水シール剤などで埋めてください。防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。



パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。

■壁スイッチ



必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎調光器の取り外しが必要です。



必ず守る

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う

取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●器具表示の指定方向に取り付ける

指定方向以外に取り付けた場合、火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

●電源線と口出し線との接続は確実にを行う

スリーブ等で確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。(内線規程1335-7~9に準ずる) 不備があると、火災、感電のおそれがあります。

●壁面取付した場合のみ、説明書に従って、本体下面方向の水抜き穴を開ける

守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。



アース線接続

●接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実にを行う

接地不完全な場合、感電のおそれがあります。

●器具内用アース線は、確実に接続する

不完全な場合、感電のおそれがあります。

注意



禁止

●温度の高温なものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎ガス機器や排気筒の上に取り付けしないでください。

施工前のご確認事項

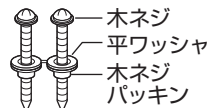
- 壁スイッチを設けることをおすすめします。
壁スイッチを設けないと消灯させたり、お手入れの際に電源をOFFにできません。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につきスイッチ3個まででご利用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)

付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

□木ネジセット(2個)

(木ネジパッキンを切り離して使用してください。)

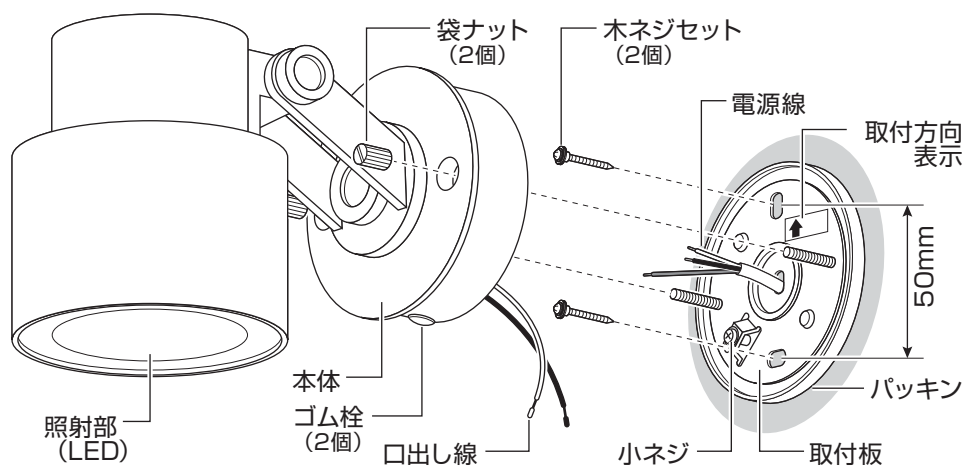
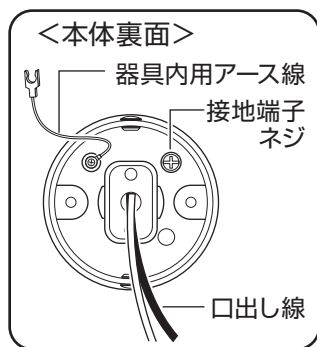


各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前のご準備

取付板から袋ナット（2個）を取り外す。

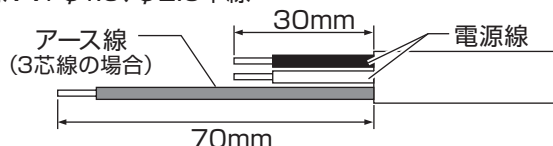


1 付属の木ネジセット（2個）で取付板を取り付ける

- ・取付方向表示の方向に従って取り付けてください。
- ・木ネジに平ワッシャ・木ネジパッキンが取り付けられていることを確認してください。
- ・取付ピッチ：50mm

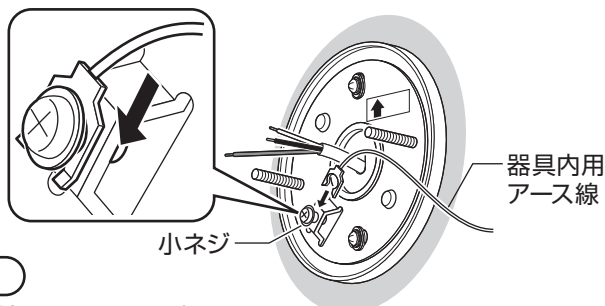
2 電源線を加工する

- ・適合電線VVFφ1.6、φ2.0単線



3 器具内用アース線を取付板に接続する

- ①小ネジをゆるめる。
- ②器具内用アース線の先端を小ネジにはめ込み、小ネジを締め付ける。



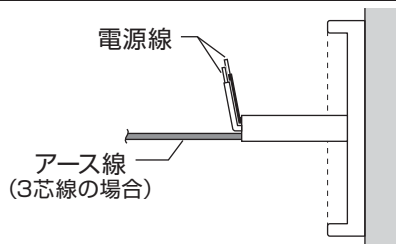
確認

アース線のかみ込みを防ぐため、矢印方向からアース線をはめ込んでください。

4 接地工事を行う

本体裏面の接地端子ネジからD種（第3種）接地工事を行う。

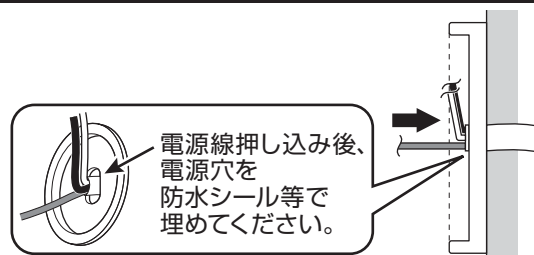
5 電源線を被覆で上方向に折り曲げる



6 口出し線に電源線を接続する

- ・口出し線と電源線をスリーブ等で確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。（内線規程1335-7～9に準ずる）

7 電源線を被覆まで壁面（天井面）に押し込む

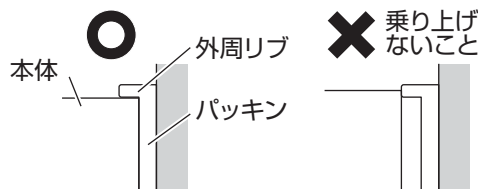


8 袋ナット（2個）で本体を取り付ける

パッキンに合わせ、本体を壁面（天井面）に取り付ける。
・袋ナット（2個）は確実に締め付けてください。

確認

- ・電源線・アース線をかみ込んでいないことを確認してください。
- ・本体がパッキン外周リブに乗り上げていないことを確認してください。

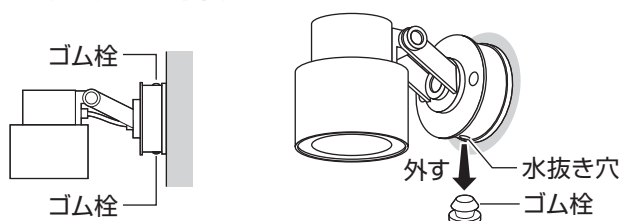


9 照射範囲を調整する

- ・「照射範囲を調整する」（4ページ）を参照してください。

10 壁面取付の場合、水抜き穴を開ける

- ・壁面に取り付けた場合のみ、本体下面方向のゴム栓を取り外し、水抜き穴を開けてください。（上面方向のゴム栓は取り外さないでください。守らないと本体内に水が浸入し、火災、感電の原因となります。）天井取付の場合は、水抜き穴を開けないでください。



警告



壁面取付した場合のみ、説明書に従って、本体下面方向の水抜き穴を開ける
守らないと浸水による火災、感電のおそれがあります。

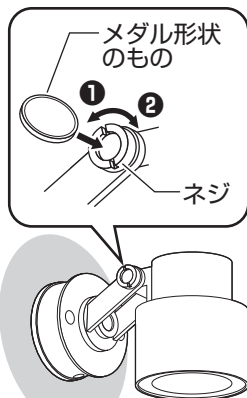
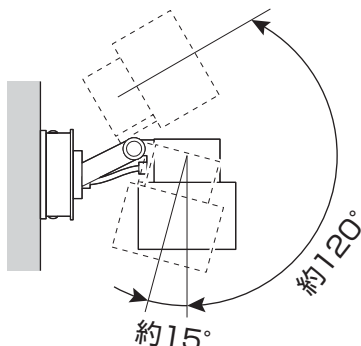
照射範囲を調整する

●照射部を動かして、照射範囲を調整できます。

①照射部の上下角度を調整する

- ①メダル形状のものでネジをゆるめ、照射部の角度を調整する。
- ②調整後、メダル形状のものでネジを締め付ける。

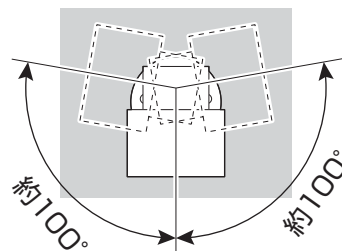
・垂直方向から外側に約120°、内側に約15°傾きます。



・ネジを締め付けた状態で垂直方向に無理に動かさないでください。

②照射部の左右角度を調整する

・左右に約100°ずつ傾きます。



お手入れについて

電源を切って、灯具が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	使用環境
AC100V	50/60Hz共用	5.2W	0.09A	屋外用

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

- まず、お買い上げの販売店へご相談ください
- ▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () ー
お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 ☐ LGW46131B ☐ LGW46131S
- ☒ 器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源については3年間です。

保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2012-2013

LGW46131B-T3A7

N0408-071213